

三原大好きたんけんたい ～ちいきのすてきを大はっけん～

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 探究力 論理的思考力・表現力 知識・技能

1 単元について

学校の特色と教師の願い

本校は、三原市の中心部に位置しており、校区内には駅や港、図書館、病院等の様々な公共施設が立ち並ぶ。また、三原城跡など歴史的な建造物に加え、海や山などの自然も豊富にある。本校の児童のみならず、多くの住民の方にとって、便利で過ごしやすい地域であると同時に、文化的、歴史的資源に恵まれた地域、学校と言える。

1学期単元では、昨年度の2年生が残したナイスマップを手がかりに課題を設定し、地域を探検する中で、自分たちの生活と地域の人々や場所が関わっていることに気付かせたい。また、2学期単元「三原大好きたんけんたい」では、地域のために尽力されている三原の人々や場所を訪問する中で、さらに広く深く地域のよさを知り、感謝の気持ちにつなげることで、郷土愛の素地を育てていきたい。

児童の実態

本学級の児童は、昨年度の学習において「仲よくなりたい」「安心して学校に来てほしい」といった思いや願いをもとに、未就学児との交流会を開催してきた。活動の中で、失敗と成功を経験し、着実に成長を遂げてきた。一方で、コロナ禍のため校外学習の経験は少なく、生活科の学習で校外に出たのは、どんぐり拾いの1回だけである。

4月のアンケートでは「学校がある地域のよいところを知っている」という問いへの肯定的な回答は65.6%であり、地域をよく知らないことが窺えたが、1学期の学習を経て、7月には69.1%へと上昇した。また、資質・能力に関しては、主体性で86.7%、論理的思考力・表現力で77.9%が肯定的な回答をしているが、いずれも強い肯定を示す児童は少ない。自分で決めて行動することや、意見と理由を説明することに課題がある、もしくは自信がもてない児童がいることが分かった。

学習の題材

本題材では、1学期に、昨年度の2年生が残した「ナイスマップ」との出合いをきっかけに、地域への興味や関心を喚起する。「ナイスマップのはてな みんなでかいけつしよう」という仮の探究課題を設定し、昨年度の2年生が訪れた場所や、自分たちの行きたい場所や会いたい人をめぐって地域を探検する。活動を通して、昨年度の2年生が「ナイス」だと思った理由を考え、意見を交流する中で三原の人々や場所と自分との関わりに気付かせる。2学期単元では、本校の創立150周年とも関連付けて「みんなが知らない地域のすてきを見つけよう」という真の探究課題を設定し、探検やインタビューを通して、住んでいる方、働いている方の思いや、建物や場所の歴史を知り、地域の魅力と地域への感謝を発信する「ありがとうごさいマップ」を作成する。このような課題解決の過程で、自分たちの思いや願いをもとに、情報を収集し、整理・分析する中で、理由付けて思考したり、自分の考えをもち、表現したりする力を高めることができる題材と言える。

単元の目標

町探検や地域の方との交流を通して、地域の様々な場所で生活したり働いたりしている人々の思いを考え、自分の生活との関わりに気付いたり、自分たちの生活は地域の人々によって支えられていることを実感したりすることで、地域への愛着や感謝の気持ちをもち、これからの生活に生かすことができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

(1) 生活科における「見方・考え方」を働かせる手立て

○身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えさせるために

児童は、自分が住んでいる地域について、何となく知ってはいるが、自分との関わりはあまり意識せずに過ご

していると考えられる。そこで、仕事の様子を見学させていただいたり、インタビューに応じていただいたりするなど、身近な地域やそこで生活したり働いたりしている人々との具体的な関わりの場を設定する。そういった活動の中で、日常生活の中であまり意識していなかった地域の人々や場所のよさに気付かせるとともに、地域を大切にす気持ちや、地域と積極的に関わろうとする気持ちを一層強くもたせられるようにする。

○よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとするために

児童の思いや願いをもとに、明確な目的をもって町探検をさせるために、昨年度の2年生が残した「ナイスマップ」をきっかけに、地域への関心をもたせる。2年生が「ナイス」と感じたのは、どのような場所なのか、また、どのような人々なのか、実際に行き確かめようとする中で計画から実施まで主体的に町探検に関わらせていく。また、昨年度の2年生からの情報に加えて、自分たちの知識やこれまでの経験から、行ってみたい場所や会ってみたい人を選んだり、設定したりすることも大事にしたい。このような児童の思いや願いを生かし、地域と関わる活動が繰り返してできるよう、継続的に協力して下さる地域の方を探しておく。

(2) カリキュラム・マネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○国語科…「こんなことをしているよ」「外国の小学校について聞こう」

「こんなことをしているよ」では、文章の組み立てについて学ぶ。この学習を生かして、町探検で収集した情報を整理し、一番伝えたいことを中心に、「はじめ」「中」「おわり」の組み立てに構成することで、誰にでも分かりやすく、伝わりやすい成果物に仕上げていく。

「外国の小学校について聞こう」では、聞きたいことをおとさずに聞く方法について学ぶ。地域で生活したり、働いたりしている人の話を聞く際に、何を聞き出したいのか目的を明確にしておき、相手が何を話しているのかを意識して話を聞くことを大事にして指導する。

○特別活動…「交通安全」

本学級の児童の多くは、毎日の登下校で交通ルールを意識しているが、昨年度に引き続き、今年度も学校での交通安全教室が実施できていない。実践を伴った交通安全学習の場としても本単元の学習を活用したい。

○特別の教科 道徳…「おじさんからの手紙」

本教材では、公共の場で過ごすマナーの大切さについて学ぶ。地域との関わりの中で、マナーを守ることで互いに気持ちよく生活できるという体験を重ね、児童自身が人々と適切に接する大切さを感じ、その接し方を身に付けさせるようにしていきたい。

(3) 学習ツールの活用

○ICT 機器

本学級の児童は昨年度より、野菜や植物の写真を撮る、画面上で情報を整理する等の活動を通して、少しずつICT 機器に触れる経験を積んでいる。指示された簡単な操作を行うことはできるようになっているが、タイピングについては、まだ円滑に操作できない児童が多いので、キーボード操作ではなく、画面に直接触れて操作できる活動を中心に行っていく。現段階での活用計画が次の通りである。

- ・課題の設定…分かっていること、知りたいことを確認するため、大型テレビで写真や動画を視聴する。
- ・情報の収集…町探検において、地域の風景や訪れた場所、出会った人を写真に撮る。
対面でのインタビューが難しい場合は、ミートを活用したインタビューを行う。
- ・整理・分析…ジャムボードを活用し、付箋や写真等を操作して、情報を整理する。
- ・まとめ・表現…必要に応じてミートを活用し、学習したことを発表する場面を設定する。等

○思考ツール

本学級の児童は、昨年度までの学習の中で、理由づけたり、関連づけたりする等、思考することの素地を養ってきたが、全体での学習が多く、グループや個人で思考を深める経験が少ない。学習の目的に合う場面で楽しみながら思考ツールを活用し、自然と思考を深めていけるよう、以下の場面で活用する。

- ・地域のよさを理由付けて思考する場面…クラゲチャート
- ・地域の場所や人のよさから分野ごとに分類する場面…XYチャート
- ・探検でわかったことを焦点化し、価値づける場面…ピラミッドチャート

3 単元の評価規準


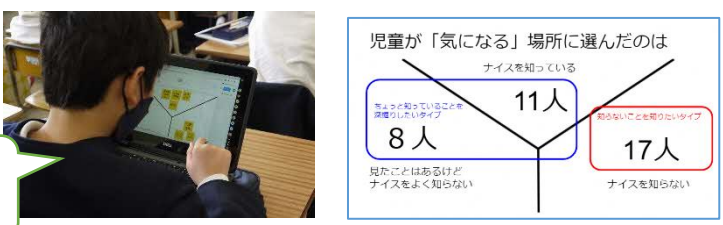



(1) 内容のまとめりごとの評価

評価の観点	単元の評価規準	学習活動（小単元）における評価規準		
		1 どきどきわくわく まちたんけん	2 もっとなかよし まちたんけん（前半）	3 もっとなかよし まちたんけん（後半）
知識・技能	地域に関わる活動を通して、自分たちの生活は、様々な人や場所と関わっていることが分かっている。	自分の身の回りには、様々な場所があり、そこには幼児や高齢者、障害のある人など、多様な人々が暮らしていることが分かっている。	地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることや、それらが自分と関わっていることが分かっている。	地域の親しみを感じる人々や愛着のある場所が増えたり、それらの人々や場所が自分たちの生活を楽しくしたりしていることに気付いている。
思考・判断・表現	地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えている。	行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、探検の計画を立てたり、約束事、班での目標を決めたりしている。	地域の場所や人々を思い起こし、地域の様子について友達と交流している。 地域の場所や人々を自分の生活を関連付けながら、捉えている。	好きになった場所や親しくなった人々などのことを振り返りながら友達や下級生に知らせている。
主体的に学習に取り組む態度	地域に関わる活動を通して、それらに親しみ愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。	地域の場所や人々に関わることへの関心や期待をもちながら、それらと繰り返し関わろうとしている。	地域の場所や人々に応じて、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。	地域の場所や人々への親しみや愛着をもって、それらのよさを大切にしようとしている。

(2) 子どもたちが考えた「子どもルーブリック」

知識・技能及び 資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 自分で決めて やってみる	課題を選んで、活動に取り組もうとしている。	課題を決めて、課題解決しようとしている。
	【協働性】 友達と力をあわせる	自分の意見をもち、友達と伝え合おうとしている。 (手を挙げる、「〇〇さんと同じ」)	自分の意見をもち、友達と伝え合う中で、友達の意見のよいところを見つけようとしている。 (「〇〇くんの意見が…」)
思考・判断・表現	【探究力】 「あれ？」(はてな) を見つける	身の回りから「あれ？」(はてな)を見つけている。	身の回りから「あれ？」(はてな)を見つけて、その答えを考えている。
	【論理的思考力・表現力】 よ〜く考え、 しっかり伝える	自分の考えと理由を大きな声で伝えている。	自分の考えと理由を分かりやすく伝えている。
知識・技能		学んだことを身につけている。	学んだことを生かして課題に取り組んでいる。

4 指導計画 (全 24 時間 本時 18/24) ♥ だるまプラン：ショック発型

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
一 テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究 《1学期単元》 できごときわく まちたんけん (12)	課題の設定 主 探	○昨年度の2年生が作成した「ナイスマップ」の気付きや疑問を話し合い、仮の探究課題を設定する。(1) 	・発言 ・ワークシート
	整理・分析 探 論	仮の探究課題：ナイスマップのはてな みんなでかいけつしよう！ ○探検の計画を立てるため、地図に掲載された場所を分類し、それぞれの「気になる」ナンバーワンを決定する。(1) 	・Yチャート ・ワークシート ・行動観察
	情報の収集 協 探 論	○みんなの「気になる」場所を中心に探検の計画と目標を立てる。(1) ○【町探検①】探検先のナイスなところを探す。(2) ・三原駅交番→三原市立中央図書館→三原市児童館ラフラフ 	・ワークシート ・行動観察
	整理・分析 主 協 論 まとめ・表現 協 論	○見つけた「ナイス」とその理由をまとめる。(1) ○まとめたことを交流し、2回目の探検の計画を立てる。(1) ○【町探検②】探検先のナイスなところを探す。(2) ・1組…三原駅 2組…三原港 	・ワークシート ・行動観察
ふりかえり	○見つけた「ナイス」をまとめ、クイズをつくる。(1) ○知ったことやクイズを1・2組で交流する。(1)【相互評価】 ○1学期の学習を振り返り、自己の成長を確認する。【自己評価】(1) 	追加 クイズ 行動観察 ワークシート ・OPPA	

情報の収集
課題の設定

主 探

もっともっとうごい
すてきを見つけない!

課題の設定

協 論

情報の収集

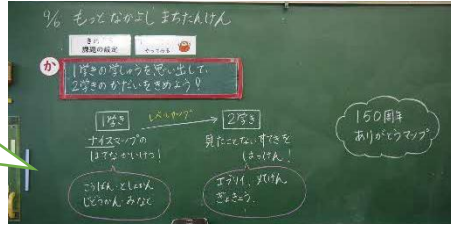
主 探

整理・分析

情報の収集

主 協 探

○1学期の学習活動を振り返り、探究課題を設定する。(1)



♥三原には、まだ自分たちの知らないよさがありそうだ!

ゴール：他学年児童に地域の魅力、保護者や地域の方に感謝の気持ちを伝える地図を作成し150周年記念式典で展示

○今後の学習計画と目標を立てる。(1)

- ・3回目の探検と気になる場所や人へのインタビュー
- ・150周年「ありがとうごさいマップ」づくり

○【町探検③】選択した探検先のすてきなところを探す。(2)

- ・漁協・パンドウパン・エブリイ・丸源 ※グループごと実施



午前2時から漁
をしているよ!



5人で160種類の
パンを作るよ!



ポップを見るとおす
すめが分かるよ!

追加



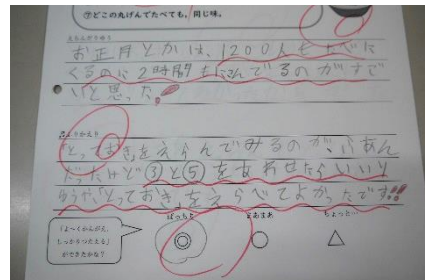
どこのお店でも
同じ味だよ!

整理・分析

協 探

○見学やインタビューで分かったことを整理する。(1)

○紹介文の見出しとなる「とっておき」の情報を選ぶ。(1) **本時**



友だちが選んだ「と
とっておき」は何か
な?同じかな?

・とっておきを選んだ理由

- ◎：予想外、自分との比較、事実と事実の組み合わせ...25人
- ：「すごい」...9人



まとめ・表現

協 探 論

○国語科「こんなことをしているよ」と関連付けて、地図に掲載するための場所や人のすてきなところを紹介する文を書く。(1)

追加

※社会見学

JA 三原, 白竜湖観光農園→紹介文の作成

- ・発言
- ・イメージマップ

- ・ワークシート

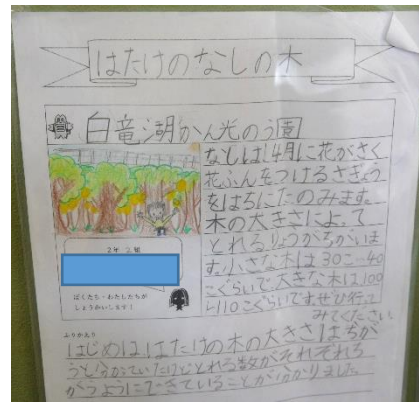
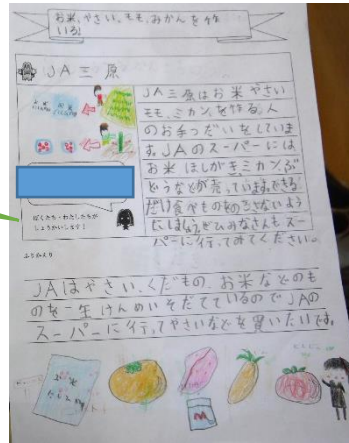
- ・インタビューシート
- ・行動観察

- ・ワークシート
- ・ピラミッドチャート

- ・紹介文
- ・ワークシート

- ・紹介文

自分たちも野菜を育ててきたから、野菜を育てる大変さが分かるね!



社会見学で行ったJA三原・白竜湖観光農園のすてきも追加!

情報の収集

主探

整理・分析

協

まとめ・表現

論

- 【町探検④】学校近辺の施設、店舗のすてきなところを探す。(2)
・歴史ストリート(茶屋・理髪店・八百屋・花屋等)

3月上旬実施予定
※ 次年度を見据え、だるまの供養所を通るルートで巡る

- 紹介文の見出しとなる「とっておき」の情報を選び、紹介文を書く。(1)

まとめ・表現

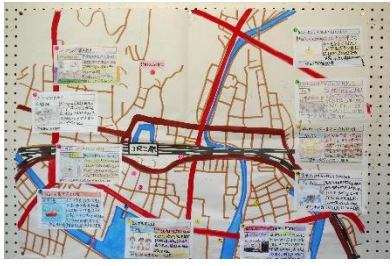
協論

- 作成した紹介文を披露したり、掲示したりして互いのよさを伝え合う。(1)【相互評価】
- 作成した地図を150周年記念行事で掲示し、他学年の児童や地域の方からコメントをいただく。【外部評価】

【全校児童バージョン】



【2年生バージョン】



ふりかえり

主探

- 他クラス児童や地域の方からいただいたコメントをもとに、本単元の振り返りを行い、地域のよさ、自己の成長を確認する。(1)【自己評価】

- ・ワークシート
- ・発言
- ・OPPA
- ・行動観察

三 活動のまとめ・ふりかえり

5 本時の学習

(1) 本時の目標

3回目の探検で得た情報を焦点化して価値づけ、紹介文の見出しとなる情報を選択することができる。

(2) 本時の評価規準（思考・判断・表現）

グループでの意見交流を通して、地図を見る人に場所や人のすてきが伝わる情報を精選し、紹介文の見出しとなる「とっておき」の情報を選んでいく。

(3) 子どもルーブリックでの評価基準（論理的思考力・表現力のルーブリック）

B：意見の交流や発表をする際に、自分の考えと理由を大きな声で伝えている。

A：意見の交流や発表をする際に、地図作成の目的を意識し、自分の考えと理由を分かりやすく伝えている。

(4) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ☆評価（評価方法） ★本校で育成をめざす資質・能力の評価（評価方法）
7分	<p>1 前時までの学習を想起し、課題を設定する。</p> <p>・自分で選んだところへ探検に行ったよ。 ・みんなに教えてあげたいことがいっぱいあった。 ・初めて知ることがたくさんあってびっくりしたよ。 ・行きたいところへ行けてうれしかったよ。</p> <p>見つけたすてきを全部地図に書くことはできるかな？</p> <p>・さすがに全部は書けない。 ・見る人に「すてき」が伝わるものを選んだほうがいいと思う。</p> <p>場所や人のすてきが伝わる「とっておき」の情報を選ぼう。</p>	<p>○ 前時までの学習を想起させるため、探検の写真などスライドを提示する。</p> <p>○ 地図に載せる紹介文の見本を見せることで、情報を精選する必要があることに気付かせる。</p> <p>○ 情報を精選する基準を確認するため、「みんなが知らないすてきを知らせる地図をつくる」という目的に立ち返らせる。</p>
	<p>2 探究の過程、本時で育成する資質・能力を確認する。</p> <p>・整理・分析（かんがえよう） ・論理的思考力・表現力（よ〜く考え、しっかり伝える）</p>	<p>○ 本時の課題を確認した上で、探究の過程と資質・能力を設定し、論理的思考力・表現力のルーブリックを確認する。</p>
15分	<p>3 情報を焦点化し価値づける。</p> <p>各グループの探検で分かったことをピラミッドチャートに並べて、「とっておき」を選びましょう。</p> <p>・バンドッパンが三原にしかないことは、絶対伝えたほうがいいと思うな。 ・漁協には、漁師さんがたくさんいて、船もあったよ。 ・エブリイは、たくさんの方が協力して働いていたよ。 ・丸源は、どこで食べてもちゃんと同じ味なのがすごい。</p> <p>班の友達とジャムボードを見せて交流しましょう。</p> <p>・バンドッパンは、お店の人が朝早くからパンを焼いていることが「とっておき」だと思うよ。こんなに朝が早いのはパン屋さんだけだと思うから。 ・エブリイは、たくさんお客さんにきてもらうために曜日ごとにお得な日を決めていたのが「とっておき」だったよ。こんなにあるとは知らなかったよ。 ・丸源は、全国にお店があることを選びました。こんなにたくさんお店があると知らなかったからです。</p>	<p>○ 前時に整理した6つの情報をジャムボードに提示し、すべての情報をピラミッドチャートの下段へ配置する。下段から「すてき」を3つ選んで中段へ、中段から「とっておき」を1つ選んで上段へ、順に移動させることで、焦点化して考えられるようにする。（三原小学校の例を提示）</p> <p>○ 1人1つのジャムボードを活用し、自分の意志で判断させる。</p> <p>○ 班の友達と意見と関連付けて「とっておき」として選んだ理由を説明できるように、話し合いの流れを示しておく。</p> <p>★ 意見の交流を通して、自分の考えと理由を伝えることができる。（行動観察）</p> <p>○ 意見の交流を踏まえて、「とっておき」を最終決定し、ワークシートに記入する。</p>

<p>整理・分析②</p> <p>15分</p>	<p>4 全体で意見を交流する。</p> <p>どの情報を「とっておき」に選びましたか。</p> <p>【パンドゥパン例】 ・「小麦粉は6種類」を選びました。小麦粉を使ってパンをつくることは知っていたけど、6種類もあるとは知らなかったからです。</p> <p>【漁協例】 ・「2時から漁をしている」を選びました。2時は朝というより夜中だよ。僕たちが寝ている時間から働いていてすごいと思ったよ。</p>	<p>☆ 「とっておき」の情報と選んだ理由を記入している。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ T2が児童を指名する。 ○ 選んだ「とっておき」とその理由を発表し、それぞれの意見の共通点や相違点に気付かせるようにする。 ○ 意思表示の挙手や発表に対する反応をさせることで、全員が発表できなくても、全員で学び合える配慮をする。
<p>まとめ・ふりかえり</p> <p>8分</p>	<p>5 学習したことをまとめる。</p> <p>「とっておき」を決めてみて、どうでしたか。</p> <p>・1つに決めるのは難しかったよ。 ・友達と同じのを選んでいたらよ。 ・おうちの人も知らないと思うのを選んでよ。</p> <p>6 学習の振り返りをする。</p> <p>・今日決めた「とっておき」を使って、紹介文を書くのが楽しみです。 ・「とっておき」に選ばなかったものも、文章の中に入れてみたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの人にその場所や人のすてきを伝えるという目的を達成するために、情報を整理し、精選することの必要性に気付かせる。 ○ 振り返りの視点を提示し、①身に着けた知識・技能②感想③意識した資質・能力から適したものを選んで振り返りを書くようにする。 ○ 「～したい」という児童の思いや願いを引き出し、次時の、それらを叶えるための計画づくりに生かす。

(5) 板書計画

9/29 もっとなかよし まちたんけん

かんがえよう よ～く考え、しっかり伝える

㊦ ばしょや人のすてきがつたわる「とっておき」のじょうほうをえらぼう。

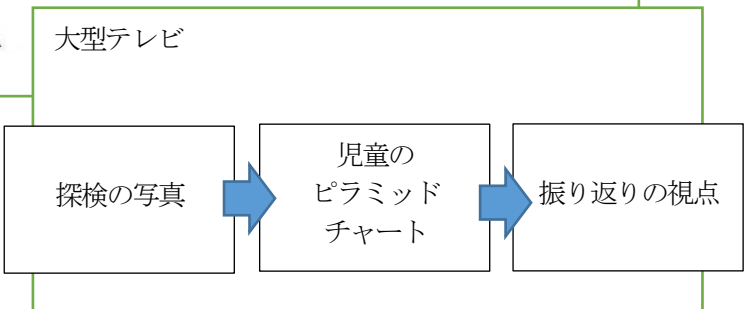
見たことない
聞いたことない

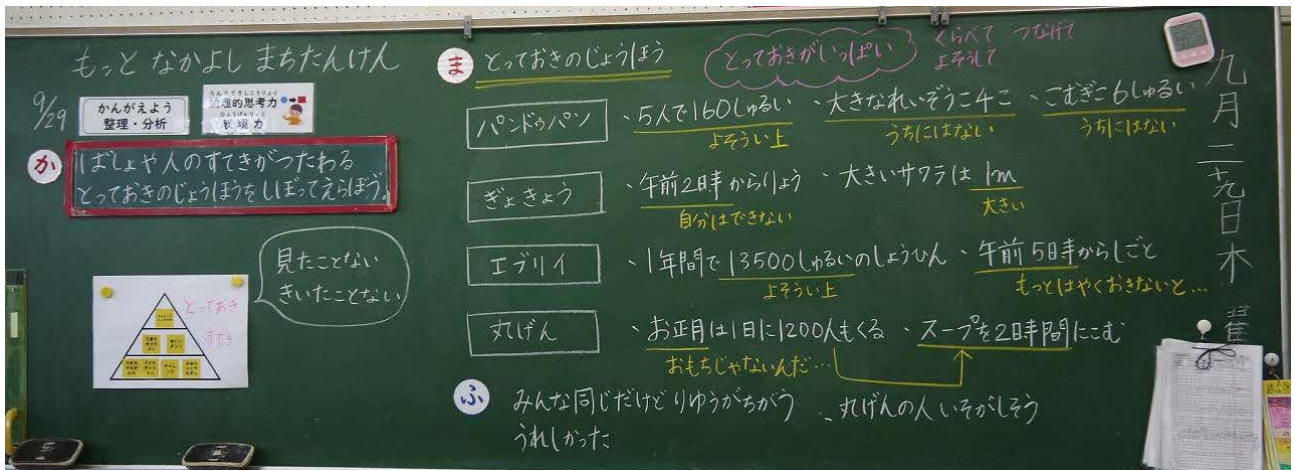
とっておき

「とっておき」のじょうほう

パンドゥパン	・こむぎこが6しゆるいある。 →パンに合わせている。
エブライ	・〇人の人がはたらいている。 →思ったより多い。
ぎよきょう	・2時からりょうをしている。 →とても大へんなこと。
丸げん	・めんはこうじょうから来る。 →どこで食べても同じ味。

㊦〇〇をえらびました。りゆうは～





2年2組座席表

黒板

画面

1	2
3	4

5	6
7	8

9	10
11	12

パンドウパン

三原市漁業協同組合

13	14
15	16
17	18

24	25	28
26	27	

丸源ラーメン

29	30	31
	32	33

19	20
21	22
23	

エブリイ

34	35
36	37
38	

